

平成20年度中小企業金融実態調査概要

平成20年9月3日

富山県商工会連合会

・調査目的

県下商工会地区における小規模企業等の経営概況や金融に関する動向等を把握し、中小企業金融の円滑化に資するための基礎資料を得ることを目的として調査を実施した。

・調査対象および方法

商工会地区の中小企業(特に小規模事業者)のうち、1200企業を無作為抽出し、商工会の経営指導員の面接により調査を行った。

・調査時期および実施期間

調査書記入時点	平成20年7月1日 現在
調査実施期間	平成20年7月9日～8月8日

・回答状況

調査対象企業数	1200社
回答企業数	984社 (回収率 82.0%)

・調査結果の概要

売上高の減少企業の割合及び採算面の赤字企業の割合が増加しており、業況の低下傾向が見られる。資金繰り面でも売上予定額の未達、更には経費負担増等により利益水準の低下が顕著で悪化傾向にある。

今後1年間に借入計画があるとする企業の割合は28.4%と前年調査対比微増ではあるが、「土地・建物の取得」「製造機器・ラインの増設」等、前向きな投資のための借入金使途に低下傾向が見られる。

原材料価格については、回答した企業の72.6%が対前年比較において上昇し、価格への転嫁が進まず収益、資金繰り面に影響を及ぼしている企業の割合が著しく高い。

借入状況については、現在の借入先として普通銀行と回答(複数回答)した企業の割合が初めて80%を超えた。また、昨年12月対比の借入額は、増えたが3.2%、減ったが5.8%とそれぞれ増加し、今後1年間の借入計画の有無と同様に、業種によって異なる対応結果がでている。借入を考える場合の懸念事項に「業況の先行き見通し難」と回答した企業の割合が5年連続で上昇し、現況を反映した結果となった。

項目別の回答は次の通りである。

今回の特徴点（前回比較）

1．企業の営業の状況について

- (1) 年間売上高については、増加した企業の割合が、前年比6.8ポイント減少し、減少した割合は6.0ポイント増加した。採算状況については、黒字企業が5.6ポイント減少し、赤字企業が、8.2ポイント増加した。
- (2) ここ1年間に、元請等との取引条件の変更状況は、37.8%の企業が元請等との取引条件に変更があり、業種では飲食業・建設業の順で多く見られた。
- (3) 10～12月の資金繰り予想では、苦しくなるは9.6ポイント増加し、楽になるは0.8ポイント減少し多忙化傾向にある。苦しい要因として、「経費増大」が15.3ポイント、「利益予定の未達」が10.3ポイントそれぞれ増加している。
- (4) 今回新たに項目を追加した原材料価格の調査については、回答した企業の72.6%が対前年比較において上昇し、価格転嫁が進まず収益、資金繰り面に影響を及ぼしている割合が著しく高いとする結果となった。業種では特に運輸業の影響度合いが突出している。

2．金融機関との取引及び借入状況について

- (5) 最近6ヶ月の借入申し込みは、5.2ポイント増加して50%を超えた(50.9%)。また借入額では、3000万円未満の借入企業は11.5ポイント減少し、5000万円超の借入企業は5.5ポイント増加するなど二極化の様相を呈している。なお「借入金利2%未満」の層は、5.8ポイント増加して17.4%までに上がった。

借入に対する満足度については、満足と回答した企業の割合は87.3%であったが、対前年対比で3.0ポイント減少した。

- (6) 預金は、昨年6月に比べ増加した企業が10.3ポイント低下し、減少した企業は9.5ポイント増えた。要因として、1年前と比較した採算状況が「悪化した」と回答した企業の割合は51.1%と前年対比で12.9ポイント増加していることに裏づけられる。
- (7) 「貸し渋り」の有無は、「ある」が6.4ポイント増加し、22.4%の事業者に及んでおり、「審査期間の長期化、資料の増加」「保証協会の付保」「担保・保証人の強化」とする理由が増加している。
- (8) 借入返済の条件変更は、「希望する」企業が6.2ポイント増加している。
- (9) 借りにくい、借りられない理由では、「業績が思わしくない」とする回答が42.6%と昨年比較では倍増している。これは、原材料価格の上昇により業績が低迷している影響がでていると推察される。また、借入計画のうち設備資金では、「土地・建物の取得」「工場・店舗等の補修・改修」「車両等の購入」が減少するなどの前向きな

動きが後退している。

- (10) 借入を考える場合の懸念事項においては、「業況の先行き見通し難」「借入後の返済力」「後継者難」が増えた。
- (11) 経営が著しく悪化した場合の相談先に43.4%の企業が「商工会」を挙げており、次に31.7%が「民間の金融機関」を挙げている。
- (12) 中小企業、とりわけ小規模企業は、直接金融への関心を持ち始めているが、今なお間接金融、とりわけ国・県・市町村の制度融資への期待は大きなものがある。

3. 制度融資について

- (13) 制度融資の利用状況は、前回調査と比べると「利用がある」は7.3ポイント減少し、「利用がない」は5.8ポイント増加した。
制度融資について、融資の条件の緩和や手続きの簡素化を求める等の意見が寄せられている。
- (14) 県が実施する融資制度、市町村における保証料免除などを含めた融資制度、本年10月に到来する政府系金融機関の民営化・統合問題、更に「地域密着型金融」等に注力する地元金融機関の姿勢など、中小企業金融の円滑化に向けた適時適切な対応が求められる。

4. 最近の諸制度について

- (15) 19年10月に信用保証協会は「責任共有制度」を導入したが、「円滑に保証をうけられた」は73.0%、「少し難しかった」は21.2%「円滑でなく難しかった」は4.5%と回答している。
金融機関の態度の変化については、「あまり変化はなかった」は57.6%、「従来よりも提出書類が増え、融資実行まで時間を要するようになった」は21.5%、「金融機関の審査が厳しくなった」は11.9%、「融資の金利が高くなった」は5.8%と回答している。回答した企業の39.2%は金融機関の態度にさまざまな変化を感受していると窺える。
- (16) 信用保証制度については、信用保証料の引き下げや信用保証枠の拡大、保証制度の充実等を求める意見が寄せられている。

調査結果(% = 構成比)

1. 回答企業の概要

(1) 業種

建設業	25.6%	飲食・宿泊業	7.6%
製造業	23.7	サービス業	10.3
卸売業	2.6	運輸業	4.6
小売業	23.3	その他	2.3

(2) 創業してから何年

2年未満	0.5%	20年未満	8.0%
5年未満	3.2	30年未満	16.6
10年未満	4.5	50年未満	36.0
15年未満	6.0	50年以上	25.3

(3) 常用従業員数

0人	25.9%	6~10人	14.5%
1人	13.2	11~15人	6.7
2人	8.2	16~20人	3.8
3~5人	17.2	21人以上	10.4

(4) 年間売上高

500万円未満	2.7%
500~1000万円未満	9.5
1000~3000万円未満	24.2
3000~5000万円未満	13.9
5000~1億円未満	17.5
1億円以上~	
1億5000万円未満	11.1
1億5000万円以上	20.7
未記入	0.4

2. 営業の状況

(1) 年間売上高の増減率（対前年同期比）

年間売上高の増加企業は、全体で33.2%となり前回調査より6.8ポイント低下した。これを業種別に見ると、卸売業で53.9%が増加と回答。さらに規模別では、21人以上、16～20人、11～15人の順で高い。

売上減少は全体で65.4%となり前回調査より6.0ポイント増加した。業種別にみると、飲食業、小売業、サービス業、の順で高い。従業員規模では、1人の規模で落ち込みが目立った。

年間売上高の増減率		20年	19年	18年
増 加	5%未満	14.4%	20.3%	21.6%
	5～10%未満	9.2	10.8	7.9
	10～20%未満	6.1	4.3	6.4
	20%以上	3.5	4.6	3.9
	計	33.2	40.0	39.8
減 少	5%未満	20.5	20.5	24.4
	5～10%未満	21.2	20.2	19.1
	10～20%未満	15.3	12.1	8.6
	20%以上	8.3	6.6	7.0
	計	65.4	59.4	59.1

(2) 取引条件の変更状況

ここ1年間の商品販売先、工事元請先、製造発注元等との取引条件の変更状況は、55.9%があまり変化はなかったと回答。反面、37.8%の企業がなんらかの取引条件の変更を強いられていると回答している。

変更状況	20年
納期の短縮、支払サイトの変更等あった	5.2%
元請等から受注価格の引き下げがあった	14.0
商品販売先から価格の引き上げがあった	18.6
あまり変化はなかった	55.9

(3) 採算の状況

ア、現在の採算状況

黒字企業が23.3%と前回から5.6ポイント減少した。赤字企業は、32.8%と8.2ポイント増加し前回より採算状況は悪化している。

黒字企業を業種別にみると、卸売業、サービス業、建設業の順で高く、赤字企業では運輸業、小売業、建設業の順で高い。

また規模別での黒字企業は、21人以上、16～20人の順で高く、赤字企業は、11～15人、6～10人、1人の順で高い。

現在の採算状況	20年	19年	18年
黒字	23.3%	28.9%	28.9%
赤字	32.8	24.6	26.3
収支トントン	42.8	45.6	43.4

イ、採算状況（対前回比較）

採算状況を前回と比較すると、好転が5.6ポイント低下し、悪化が12.9ポイント増加して平成14年以来半数（51.1%）を超え、採算状況の悪化が進んでいる。

採算状況	20年	19年	18年
好転した	6.7%	12.3%	12.3%
悪化した	51.1	38.2	37.0

（4）資金繰り状況

ア、今年10～12月の資金繰り予想

「大変苦しくなる」と「苦しくなる」の合計では、前回より9.6ポイント増加し、49.3%。「変わらない」が12.3ポイント減少して33.8%。「楽になる」は0.8ポイント減少し0.8%。全般的に資金繰りは悪化傾向が鮮明に出てきている。

「苦しい」を業種別でみると、運輸業、建設業、小売業の順で高い。

今年10～12月の資金繰り	20年	19年	18年
大変苦しくなる	8.8%	5.4%	4.8%
苦しくなる	40.5	34.3	33.4
計	49.3	39.7	38.2
変わらない	33.8	46.1	46.7
楽になる	0.8	1.6	2.6
計	34.6	47.7	49.3
わからない	14.1	11.0	10.3

イ、資金繰りが苦しくなる原因（2つ以内で回答）

「苦しくなる」理由は、「売上が予想額に達しない」と「利益が予定に達しない」が圧倒的に高く50%を超えている。

「経費が増大」は15.3ポイント増加の30.2%と倍増した。

（2つの複数回答）

苦しくなる原因	20年	19年	18年
売上予定額未達	61.5%	71.5%	65.4%
売上利益予定未達	55.8	45.5	42.7
手形受領多い	1.2	2.1	2.8
手形期日長期	1.2	1.7	2.0
金融機関借入不円滑	5.6	4.5	6.5
借入返済額大きい	17.5	24.0	27.2
在庫増大	1.6	2.9	4.5
売上代金回収悪い	7.2	8.3	5.7
焦付き・貸倒れ発生	2.5	4.1	3.7
経費の増大	30.2	14.9	20.3
その他	2.5	2.9	2.8

(5) 原材料価格の上昇状況

イ．原材料価格を含む仕入・調達価格の比較（前年比較）

72.6%の企業は原材料価格等が上昇したと回答している。

	20年
10%以上上昇した	44.2%
20%以上上昇した	19.4
30%以上上昇した	9.0
変化は少ない	21.1
値下がりした	0.6

ロ．収益状況

77.4%の企業が原材料価格等の上昇によって収益を圧迫していると回答している。

	20年
収益を大きく圧迫している	30.3%
やや圧迫している	47.4
影響はほとんどない	16.1

ハ．販売価格等への転嫁状況

40.2%の企業はまったく販売価格等に転嫁できていないと回答し、20%以下の企業も33.7%と販売価格等への転嫁が進んでいない現実を表している。

業種では、運輸業の60.0%がまったく転嫁できていないと回答。

20年

1%～20%転嫁できている	33.7%
21%～50%転嫁できている	6.3
51%～80%転嫁できている	5.2
81%～100%転嫁できている	4.5
まったく転嫁できていない	40.2

二．資金繰りへの影響状況

45.3%の企業は資金繰りへの影響について悪化したと回答している。

業種的には、運輸業の77.8%が資金繰りが悪化したと回答しており、際立っている。

	20年
資金繰りが悪化した	45.3%
資金繰りに変化はない	44.8
資金繰りが好転した	0.7

ホ．原材料価格の上昇について、ご意見があればご記入ください。

全てを記載した。

- ・ 仕入先との情報交換を密にして、値上がり前（タイヤ等）の仕入をしている。
- ・ 材料支給であり、影響はない。
- ・ コスト上昇を単価に転嫁することは難しいと思われます。創意工夫で今は利益率を維持できてはいますが、今後、利益が悪化するようであれば、価格転嫁以外の方策を考える必要が大重要と思われます。
- ・ 公共工事の減少により、いちじるしく仕事量が減った。
- ・ ガソリン・灯油代の補助をしてほしい。
- ・ 仕方ないのではないか。（原材料が高価）
- ・ 今のところ、資金繰りに変化はないが、今後全ての仕入価格の高騰により資金繰りが悪化すると予想されます。
- ・ 経費の価格の方が上昇している。
- ・ 原材料価格の上昇に対して商品の値上げをとったが、値上げ率が低く転嫁出来ていない為客数減はないと現在は感じている。
- ・ 経費の削減を行ってきたが、もう削減するところがなく、とうとう人件費を残すばかりとなった。
- ・ 同業者との価格競争が激しい為、苦勞している。又、お客様の注文が細かい為、納期が遅れる。
- ・ 材料代が上がったのに、仕事の単価を上げてもらえない会社の仕事は絶対にしない。
- ・ 国が何らかの対策をとってほしい。（原油高騰など）
- ・ 政府に暫定税率の廃止。
- ・ 原油高をどうかしてほしい。

3. 金融機関との取引状況 等

(1) 6月末預金高はどれくらいありましたか

前年と比較すると、500万円未満が4.5ポイント減少し、500万円超が3.4ポイント増加している。

預金高	20年	19年	18年
100万円未満	18.6%	19.0%	17.7%
100~300万円未満	23.4	24.3	21.5
300~500万円未満	13.7	16.9	14.3
500~1000万円未満	13.6	16.2	17.3
1000~3000万円未満	13.5	13.3	15.2
3000~5000万円未満	5.5	2.8	4.2
5000~1億円未満	4.2	3.1	3.1
1億円以上	3.8	1.8	2.5

(2) 昨年の6月と比べ預金は増加しましたか、それとも減少しましたか。

増加したと回答した企業は10.3ポイント減少し24.6%。

減少したと回答した企業は9.5ポイント増加し77.7%。業種では、飲食業、運輸業、小売業の順で減少している。

		20年	19年	18年
増 加	5%未満	12.8%	23.3%	21.5%
	5~10%未満	4.8	6.4	6.7
	10~15%未満	1.7	1.5	1.7
	15~20%未満	1.0	0.7	1.1
	20%以上	4.3	3.0	2.5
	計	24.6	34.9	33.5
減 少	5%未満	29.9%	29.3%	31.9%
	5~10%未満	18.6	17.2	15.1
	10~15%未満	7.9	4.4	6.2
	15~20%未満	4.1	2.1	3.6
	20%以上	10.2	8.2	5.9
	計	70.7	61.2	62.7

(3) 今年6月末の借入額

前回より1000万円未満で3.9ポイント、1000万円~5000万円未満で7.5ポイントそれぞれ減少した。また5000万円超では、前回比5.5ポイント増加し階層によって二極化している。

また、借入なしの企業は4.6ポイント増加し15.1%となる。

借入額	20年	19年	18年
300万円未満	13.7%	12.4%	14.4%
300～500万円	9.0	10.0	6.5
500～1000万円	10.7	14.9	12.8
1000～3000万円	18.8	26.4	25.3
3000～5000万円	10.4	10.3	12.3
5000～1億円未満	9.5	6.4	11.0
1億円以上	9.3	6.9	5.1
なし	15.1	10.5	10.6

(4) 現在の借入先(多い順に3つ回答)

前回調査と比べ、普通銀行16.0ポイント、信金・信組が5.1ポイント増加し、国民公庫・中小公庫・商工中金は1.0ポイント、農協1.1ポイント減少している。普通銀行の増加が際立っている。

現在の借入先	20年	19年	18年
普通銀行	82.4%	66.4%	75.1%
信用金庫	39.1	34.9	40.4
信用組合	8.4	7.5	8.4
国民公庫	41.3	45.6	60.0
中小公庫	5.4	3.3	3.9
商工中金	3.5	2.3	1.6
農協	4.0	5.1	5.7
その他	4.0	3.3	2.7

(5) 借入額は(昨年12月頃に比べて)

「増えた」33.2%、「変わらず」30.6%、「減った」35.6%となり、「増えた」が3.2ポイント、「減った」が5.8ポイントそれぞれ増加した。

「増えた」企業は、業種では運輸業、卸売業、建設業の順になっている。

「減った」企業は、飲食業、製造業、サービス業の順になっている。

借入額は	20年	19年	18年
増えた	33.2%	30.0%	32.4%
減った	35.6	29.8	38.6
変わらず	30.6	28.7	28.3

(6) 金利は(昨年12月頃に比べて)

「上がった」が3.3ポイント減少し、「下がった」は0.5ポイント増加した。また、「変わらず」が14.5ポイント増加した。

業種では、「上がった」企業は運輸業、卸売業、建設業の順になっている。

金利は	20年	19年	18年
上がった	23.6%	26.9%	29.0%
下がった	3.1	2.6	2.0%
変わらず	72.0	57.5	68.1%

(7) 現在の借入金利(平均)

平均金利は、「2.0%未満」が5.8ポイント増加し17.4%となり、「2.0~2.5%未満」も5.2ポイント増加し48.3%となった。また3.0%超では、0.7ポイント減少した。

階層別では、3.0%未満が86.9%を占めた。

現在の借入金利	20年	19年	18年
2.0%未満	17.4%	11.6%	22.2%
2.0~2.5%未満	48.3	43.1	44.5
2.5~3.0%未満	21.2	20.7	20.5
3.0~3.5%未満	5.2	6.2	4.8
3.5~4.0%未満	3.4	2.3	2.5
4.0~4.5%未満	0.5	1.5	0.7
4.5%以上	0.4	0.2	0.5

(8) 最近6ヶ月間の借入申込(借入申込実績)

「した」が前回より5.2ポイント増加した。業種別では卸売業、運輸業、建設業、の順で多く3業種共50%以上借入申込したと回答。「しなかった」は4.9ポイント増加し、飲食業、サービス業、小売業の順で多く3業種共50%以上借入申込しなかったと回答。

借入申込	20年	19年	18年
した	50.9%	45.7%	54.3%
しなかった	47.9	43.0	44.5%

(9) 借入の満足度

「非常に満足」が2.1ポイント増加した一方で、「まあ満足」が5.1ポイント減少した。また「不満」と「ことわられた」を合わせると11.3%で前回比3.4ポイント増加しており対応に硬化傾向がみられる。

借入の満足度	20年	19年	18年
非常に満足	24.3%	22.2%	28.9%
まあ満足	63.0	68.1	58.0
不満足	9.1	6.5	9.2
断られた	2.2	1.4	1.6

(10)「貸し渋り」の有無

「ある」が前回より6.4ポイント増加し、「ない」は6.0ポイント減少した。

「ある」を業種別で見ると、建設業、運輸業、飲食業の順で高い。

「貸し渋り」の有無	20年	19年	18年
ある	22.4%	16.0%	26.7%
ない	75.6	81.6	72.4

(11)「貸し渋り」の内容(3つの複数回答)

「貸し渋り」の内容をみると「金額査定減」1.5ポイント、「保証協会の付保」8.8ポイント、「審査期間の長期化、資料の増加」10.3ポイント、「担保・保証人の強化」は7.3ポイント増加した。

一方、「金利の上乗せ」4.4ポイント、「既往貸付の回収」23.5ポイント減少している。

「貸し渋り」の内容	20年	19年	18年
追加融資不可	41.2%	41.2%	53.6%
金額査定減	39.7	38.2	39.3
保証協会の付保	38.2	29.4	44.6
担保・保証人の強化	19.1	11.8	26.8
審査期間の長期化、資料の増加	25.0	14.7	12.5
既往貸付の回収	14.7	38.2	21.4
金利の上乗せ	16.2	20.6	10.7
その他		2.9	

(12)借りにくい、借りられない理由 回答数構成比

「業績が思わしくない」が22.0ポイント増加し42.6%、「担保力がない」が4.4ポイント増加し10.3%を占めた。「借入残高が多い」は41.2ポイント減少し29.4%であった。

借りにくい、借りられない理由に変化が見られる。

借りにくい、借りられない理由	20年	19年	18年
業績が思わしくない	42.6%	20.6%	23.2%

借入残高が多い	29.4	70.6	55.4
担保力がない	10.3	5.9	8.9
しっかりした保証人がいない	2.9	0.0	0.0
取引実績がない	2.9	0.0	0.0
取引実績が悪い	0.0	2.9	7.1
その他	1.5	0.0	3.6

(13) 借入返済の条件変更 (希望の有無)

条件変更を「希望する」企業が、前回調査と比べ6.2ポイント増加し、「希望しない」も、3.3ポイント増加した。

条件変更	20年	19年	18年
希望する	21.8%	15.6%	20.6%
希望しない	74.4	71.1	76.3%

(14) 希望する条件変更

「返済期間の延長」が6.7ポイント、「担保等の軽減」が2.5ポイント増加した。また、「長期資金への切替」「元金返済の一時据置」はそれぞれ10.3ポイント、0.9ポイント減少した。

希望する条件変更	20年	19年	18年
返済期間の延長	56.0%	44.2%	49.1%
長期資金への切替	22.3	32.6	25.9%
元金返済の一時据置	14.9	15.8	16.4%
担保等の軽減	4.6	2.1	5.2%

(15) 条件変更を希望する理由

「借入返済額過重」は13.9ポイント減少し、「売上高の減少」「取引条件の悪化」「借入難」で9.9ポイント増加した。

「返済負担過重」を業種別でみると小売業、サービス業、建設業の順で比率が高くなっている。

希望する理由	20年	19年	18年
借入返済額過重	37.7%	51.6%	46.6%
売上高の減少	37.1	33.7	32.8
借入難	5.7	3.2	6.9
経営外への資金流出	0.6	1.1	0.9
不良債権の発生	1.1	1.1	0.9
取引条件の悪化	10.3	6.3	5.2

その他 4.6 0.0 1.7

(16) 条件変更の難易

前回調査と比べ、「容易である」が0.8ポイント減少し、「交渉次第で何とかなる」も10.3ポイント減少した。また「難しい」は11.8ポイント増加している。

業況の悪化によって、取引条件変更の難易度が高くなっている。

条件変更の難易	20年	19年	18年
容易である	3.4%	4.2%	4.3%
交渉次第で何とかなる	42.3	52.6	51.7
難しい	48.6	36.8	36.2

(17) 金融機関からの借入金返還要求の有無

「あ る」が3.0%で、前回と比べ0.6ポイント減少している。

業種別では飲食業、建設業、製造業の順で高い。

借入金返還要求	20年	19年	18年
あ る	3.0%	3.6%	4.3%
な い	94.6	84.4	93.1%

(18) 経営が著しく悪化した場合の相談先

先行きに問題が生じたとき、まず、第一に相談に行くところは商工会43.4%で前回比5.0ポイント減少し、次に金融機関31.7%で前回比6.8ポイント増加している。 前回は引き続き地元 指導員の頑張りが評価されているものの年々減少していることに注力したい。

「その他」では、会計事務所、親会社等の回答がありました。

相談先	20年	19年	18年
商工会	43.4%	48.4%	52.0%
商工会連合会	0.6	0.5	1.1
県・支援センター	2.4	0.8	1.8
金融機関	31.7	24.9	29.0
政府系金融機関	2.9	2.1	3.2
親戚・友人・知人	7.7	5.9	6.8
その他	5.7	4.1	3.2

4. 借入計画 等

(1) 今後の借入計画 (1年間)

「あ る」は前回と比べ2.2ポイント増加している。

業種別にみると、運輸業、卸売業、製造業、建設業の4業種は30%を超えている。

規模別では、11~15人・21人以上・16~20人の規模が40%台を超えている。

借入計画	20年	19年	18年
あ る	28.4%	26.2%	32.5%
な い	68.8	72.6	65.9%

(2) 計画ある場合の資金使途 (無記入除外、回答数構成比)

「設 備」の内訳をみると、前回比「工場・店舗等の補修・改修」「車両の購入」「製造機器・ラインの増設」「土地建物の取得」で減少しており、「パソコン等のIT機器」は増加している。

一方、「運 転」では「買掛金・手形決済」、「諸経費の支払・納税」、「他の借入返済に充当」は減少しているが、「商品・原材料の現金買い」「給与・賞与等の支払い」は増加している。

資金使途		20年	19年	18年
設 備	製造機器・ラインの増設	13.3%	16.9%	9.4%
	パソコン等のIT機器	4.3	2.4	5.7
	車両等の購入	15.4	30.1	25.4
	工場・店舗等の補修・改修	15.8	31.3	41.5
	土地・建物の取得	4.7	15.7	8.5
	公害防止関係設備	1.4	2.4	2.8
	従業員福祉施設の設置	0.7	0.0	
そ の 他	5.7	1.2	6.6	
運 転	買掛金・手形決済	26.9	37.0	36.6
	諸経費の支払い・納税	23.7	24.0	21.6
	商品・原材料の現金買い	21.9	17.1	24.7
	給与・賞与等の支払い	10.0	8.2	8.8
	他の借入返済に充当	6.5	12.3	6.2
	新分野進出への準備金	2.5	1.4	2.1

(3) 借入時の重視条件(2つの複数回答)

前回と比べ、直接条件が3.6ポイント増加し、間接条件が5.4ポイント減少した。

借入時の重視条件		20年	19年	18年
直接条件	金利が低い	70.3%	66.3%	56.9%
	条件が有利	41.9	42.5	41.1
	返済期間が手頃	21.5	21.3	24.4
間接条件	日頃のつきあい	24.7	19.4	23.9
	近くにあって便利	11.1	17.5	14.4
	経営上の相談指導が得られる	14.3	16.3	19.1
	サービスが良い	3.2	5.6	2.4
	その他	0.7	0.6	1.4

(4) 借入を考える場合、何が懸念されるか(2つの複数回答)

「業況の先行き見通し難」がトップで、次いで「借入後の返済力」と2項目は圧倒的に多い。

前回比「業況の先行き見通し難」「借入後の返済力」「不動産担保余力」「後継者」がそれぞれ増加し、硬化傾向にある。

何が懸念されるか	20年	19年	18年
業況の先行見通し難	68.8%	67.5%	60.3%
借入後の返済力	65.9	60.6	55.0
連帯保証人	7.9	13.8	20.1
不動産担保余力	3.2	0.6	2.9
金融機関の対応	14.0	17.5	21.1
信用保証協会の付保	5.0	5.6	5.7
後継者難	5.4	2.5	2.9
その他	0.0	0.0	0.0
特になし	5.4	8.1	5.3

(5) 資金調達について

回答率は40.2%である。

支援ファンド15.1%を業種別に見ると、運輸業、サービス業、建設業の順で高い。

4度目の調査だが、中小企業者も直接金融について前向きに取り組みつつあるように思われる。

資金調達	20年	19年	18年
------	-----	-----	-----

CLO	4.6%	6.6%	5.3%
支援ファンド	15.1	13.8	13.1
出資の受入	9.2	10.8	10.4
社債の発行	3.2	1.6	3.1
私募債	8.6	9.0	11.8
CBO	1.6	2.1	3.4
その他	9.8	10.0	10.1

5. 融資制度 等

(1) 国・県・市町村の融資制度の利用

前回調査と比べると、「ある」は7.3ポイント減少しており、逆に「ない」が5.8ポイント増加した。

「ない」を業種別に見ると、サ - ビス業、卸売業、製造業の順で高く、3業種共60%を超えている。規模別では21人以上、0人、16～20人の順が多い。

融資制度の利用	20年	19年	18年
あ る	39.4%	46.7%	49.6%
な い	57.6	51.8	48.4%

(2) 国や県、市町村の融資制度は経営(資金調達)の役に立っていますか。

経営に役立っていると回答した企業は、96.4%を占めている。

経営に役立っているか	20年	19年	18年
大変役に立っている	60.3%	61.4%	54.5%
まあまあ役たっている	36.1	36.1	43.6
あまり役にたっていない	1.5	1.4	0.9
役にたっていない	0.8	1.1	0.0

(3) 制度を利用しない理由

前回調査に比べ、「利用する必要がない」が0.3ポイント増加している。また「メリットがない」「手続き面倒」「融資条件合致せず」で5.4ポイント減少した。

制度を知らなかったは3.2%で0.7ポイント増加した。

その他には、以前に申し込んだが否決された等があった。

利用しない理由	20年	19年	18年
利用する必要がない	70.2%	69.9%	75.9%
メリットがない	1.2	2.2	1.6
手続き面倒	4.6	8.9	4.5

融資条件合致せず	5.6	5.7	4.2
制度を知らなかった	3.9	3.2	3.2
その他	2.3	1.9	3.2

(4) 政府系機関の統合により平成20年10月に株式会社日本政策金融公庫となるが、小規模企業の資金調達に影響があると思うか。

影響があると回答した企業は、11.5%と前年比較で7.5ポイント減少した。

	20年	19年	18年調査
影響がある	11.5%	19.0%	懸念があると思う 37.5%
影響がない	12.3	18.4	懸念がない 9.0
なんとも言えない	64.2	56.3	なんともいえない 49.5

(5) 国(政府系金融機関)、県、市町村制度融資について、寄せられた意見全てを記載した。

- ・ 国(政府系)は実情にあった考えを持っていない。いまだに担保だ、保証人だと云うことにこだわっていて利用出来ない。それでいて、返済が終わりそうになると利用してくれと云う。新規事業への先行投資に対する理解が出来ていない。県も手続きが面倒過ぎる。市が最も利用しやすい。
- ・ 保証協会を利用しないで、低金利の融資制度があれば良い。
- ・ 従来通りの融資や返済条件を維持してほしい。
- ・ 援助(助成)を厚くしてほしい。
- ・ 借入金の返済期間を5~7年を10~15年にのばしてほしい。
- ・ 建設業全体が先行不透明だと思われます。何らかの制度融資をお願いしたいと思います。
- ・ 融資の書類をもう少し簡単にしていれば助かります。
- ・ 大手メーカーが県内に進出し、地場の企業が苦しい状況になっている今、県内の企業に対しての支援となるような融資制度を期待します。
- ・ 経営悪化で運転資金を借りるのだが、悪化するほど金利が高くなる為、借入金総額に対しての金利設定があればよい。
- ・ 融資の条件や手続きを、融資したいと考えている会社の資産状況を見て簡単にしてください。
- ・ 中小企業があつて大企業があるので、中小企業を大切にしてください。
- ・ 企業の合併ならわかるが、政府系金融機関の合併においては、細かいサービスがなくなると思われる。
- ・ 返す期間が短い。
- ・ 県・市町村の制度が良く分からない。具体的な説明が欲しい。
- ・ 説明にもっと具体例を記してほしい。あてはまるかという基準が見えにくい。
- ・ 保証協会の保証額が行政の言うのより小額である。

- ・（国金について）手続きに時間がかかるように聞いているが？提出資料も多い。もっとシンプルかスピーディーにならないものか。
- ・運輸業にとって軽油は人間でたとえれば「心臓」です。心臓の源がくずれていけば、従業員全部を「自殺」しろといっしょです。国の悪財官をさげ、もっと国のため私たちのために汗水流して働いて下さる人を。そして油の価格をもっと減に。
- ・県信用保証協会の柔軟な対応を望みます。自力再生、分割・営業譲渡など雇用確保、サービス・商材の地域への安定供給の役割を担う地元中小企業の安定継続により主眼を置いて欲しい。
- ・市町村融資制度は役に立つ。有難いと思う。
- ・保証協会付の場合、求める書類が多く細かい。
- ・林建設工業の民事再生法申請で債権回収が困難になる。十分な対応をお願いしたい。
- ・小口事業資金枠を広げてほしい。
- ・連帯保証人のいない融資制度を増やしてほしい。
- ・政府系は保証協会が付かないのでよい。
- ・融資額の増額と金利を下げる。保証協会の率を低くしてほしい。
- ・全く期待せず、自己責任のみ。
- ・徐々に金利が上がってきていて、借りづらくなってきた。
- ・金利を下げてほしい。保証人について緩和してほしい。
- ・今の利率を維持してほしい。
- ・借入額の緩和。
- ・長期返済。低金利（保証料含む）。
- ・書類が多すぎ。

（６）マル経融資の２０年４月からの制度改正についての周知度。

マル経融資制度改正の周知度は、よく知っている・だいたい知っているは合わせて６．６％であった。今後の周知に課題を残した。

	20年
よく知っている	1.9%
だいたい知っている	8.8
少ししか知らない	19.8
まったく知らない	62.2

（７）市町村合併に伴う市の制度融資の利用状況の変化について。

合併に伴う市の制度融資の利用状況については、「利用しやすくなった」と「不便になった」はほぼ拮抗した状況であり、「あまり変わらない」は63.0%を占めた。

	20年
利用できる制度が増え利用しやすくなった	5.4%
あまり変わらない	63.0
利用が不便になった	6.5

6. 最近の諸制度についておたずねいたします。

(1) 19年10月に信用保証協会は「責任共有制度」を導入しましたが、これらについておたずねしました。

ア、19年月以降、信用保証協会の保証付で借入をされましたか。

19年10月以降、借入をした企業は、311社(31.6%)に及んだ。

借入	20年	19年	18年
借入をした	31.6%	18.2%	15.6%
借入はしていない	57.6%	77.9%	82.0%

イ、円滑に保証手続きが進みましたか。

「円滑に保証をうけられた」と回答した企業は73%と前年比較で3.6ポイント増加した。

	20年	19年	18年
円滑に融資がうけられた	73.0%	69.4%	75.0%
少し難しかった	21.2%	21.6%	19.0%
円滑でなく難しかった	4.5%	2.7%	5.0%
未記入	1.3%	6.3%	1.0%

ウ、金融機関の態度にどのような変化がありましたか。

「審査が厳しくなった」「金利が高くなった」「提出書類が増え、時間を要するようになった」は39.2%と金融機関の態度にさまざまな変化が窺われる。

	20年
金融機関の審査が厳しくなった	11.9%
融資の金利が高くなった	5.8
従来よりも提出書類が増え、融資実行まで時間を要するようになった	21.5
あまり変化はなかった	57.6
その他	0.3

(2) 信用保証制度について、ご意見があれば自由にご記入ください。

全てを記載した。

- ・ 保証料が高い。
- ・ 難しいことはわかりませんが、少しでも低い金利の設定で借りやすくしてほしいです。
- ・ 貸付額の枠を広くしてほしい。
- ・ 保証制度の審査基準がより厳しくなるのではないか。
- ・ 信保も付ける事で、金融機関からは借りやすくなっている。保証協会の担当者によって対応が異なる。
- ・ 問題点が何かわからないまま日数ばかりかかった。希望日ぎりぎりのOKでは、だめだった時どうすればいいのか。
- ・ もっと保証料を安くして下さい。
- ・ 今後、金融機関の対応が心配される。前向きな信用保証制度を考えて欲しい。
- ・ 予定していた日に融資実行できなく、つなぎ融資など急な対応をせざるを得ず、中小企業にとっては非常に不安である。
- ・ 現在の自社の保証枠が実際にはわからない。もう少し透明にしてほしい。
- ・ 国の不況業種指定で借入限度額を申込んでも、必ず限度額以下である。
- ・ 部分保証は貸し渋りにつながるのではないか？
- ・ 全て保証協会が付いているみたいで、いつも保証協会が・・・と銀行マンが言われる。せっかく市や県の制度があるんだから、保証協会ナシでして欲しい。意味がない。
- ・ 保証料をもっと引き下げてほしい。
- ・ 借入を全額返したら保証料を少しでもいいから返してもらいたいです。
- ・ 枠の8000万円（無担保）は売上げが上がっても同じはおかしい。
- ・ 県信用保証協会の柔軟な対応を望みます。自力再生、分割・営業譲渡、サービス・商材の地域への安定供給の役割を担う地元中小企業の安定継続により主眼を置いて欲しい。
- ・ 形式ばかりでメリットがない。金利高く、担保が必要なぜ？
- ・ 担保があれば、保証料がもっと安くなればよいと思う。
- ・ 信用保証制度を18年に借入するまで知らなかった。
- ・ 保証料率が非常に高い。
- ・ 風俗営業業種（社交飲食）でも財務状況を見て判断する様にして欲しい。
- ・ 金利を下げてほしい。
- ・ かたい感じがする。
- ・ 保証料の値下げ。

(3) 貸金業規正法の改正について

小規模企業の資金繰りに影響があるとの回答、18.1%で前回比4.5ポイント減少した。

	20年	19年
影響があると思う	18.1%	22.6%
影響はないと思う	16.7	23.3
結構利用しているので影響は大きいと思う	0.7	0.5
小額利用なので影響は小さいと思う	2.1	1.5
よくわからない	50.7	48.2

(4) 「地域力連携拠点事業」の事業内容について

本年5月30日から業務を開始したが、「相談したい」「説明をうけたい」は11.8%に止まり、「関心がない」は75.6%を占めた。

	20年
関心があり取組みについて相談したい	5.4%
内容に不明なところあり説明をうけたい	6.4
現在のところ特に関心がない	75.6
未記入	12.6

(5) 商工会に期待する金融円滑化支援策等について、ご意見があれば自由にご記入ください。

全てを記載した。

- ・ 商工会がよくわかってなく、これからいろいろ相談したいと思っています。
- ・ 地元商工会 = 地元金融機関でなければいけないのか？
- ・ 最近、他地区の銀行が積極的に営業に来ている。もし、使うとなれば地元商工会の支援で他地区銀行を使いたい。
- ・ 日頃より、商工会においては、資金調達に関する相談や書類作成を円滑に行って頂いており、大変助かっております。
- ・ 援助（助成）制度を強力に押し進めてほしい。
- ・ 借入時の書類を簡素化してほしい。
- ・ 銀行に対して商工会の役割がよく理解できていない。
- ・ さき書いている「軽油値上げ」の問題。「情報」を常に新しいものをお願いします。
- ・ このようなアンケートが多いが、どのあたりに役立っているのか不明です。商工会は地域中小企業の支援のためにあるのであれば、加盟している会員への支援策の構築をどんどん進めてほしいし、会員への周知も徹底して行ってほしい。夏祭りの企画より優先されるべきではないでしょうか？

- ・ 商工会職員の更なる能力向上、商工会のモラル・ポリシーの明確化、場当たりの制度融資の濫用排除、情報発信及び収集能力・技術の高度化など不足している所が多過ぎる。
- ・ 金融円滑化という制度融資の窓口業務に特化しつつある商工会に魅力を感じない。
- ・ 商工会法、商工会議所の改正により、組織の効率化・専門性の追求を図って欲しい。
- ・ マル経に関して、条件をもうすこし緩和してほしい。(借入金の残高が 4000 万円以下となっていたりしているので・・・)
- ・ しばらく利用していないが、相談し易く、いざと云うときに役立つと思う。
- ・ 金融機関とのパイプ役になってほしい。
- ・ 最近、商工会を通じて借入れしていないのでわかりません。
- ・ 担保保有継続による短期小口融資の窓口業務事務の簡略化。
- ・ 物価が上がるばかり、益々世の中の金の流れが悪くなるばかりの様に感じられる。先が見えない現在、なるべく借入れを増やさず、自力で頑張れる様に努力している。
- ・ 建設業の厳しい実態を強く言ってほしい。
- ・ 大型店・量販店の進出により、既存の商店街が崩壊状態です。今残っている中小企業でやる気のある企業に対して、担保有りの無利息融資制度を作ってほしい。

以 上

中小企業金融実態調査集計表(全体、5ヵ年比較)

上段 実数
(下段 構成比)
N A 無記入

区 分		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
企業の概要についておたずねします	1 業種は次のどれにあたりますか	建設業	184 (28.1)	164 (25.5)	162 (25.2)	144 (23.6)	252 (25.6)
	製造業	123 (18.8)	129 (20.1)	123 (19.1)	127 (20.8)	233 (23.7)	
	卸売業	20 (3.1)	21 (3.3)	16 (2.5)	13 (2.1)	26 (2.6)	
	小売業	162 (24.7)	154 (24.0)	175 (27.2)	151 (24.8)	229 (23.3)	
	飲食業・宿泊業	51 (7.8)	57 (8.9)	54 (8.4)	59 (9.7)	75 (7.6)	
	サービス業	74 (11.3)	74 (11.5)	73 (11.4)	72 (11.8)	101 (10.3)	
	運輸業	30 (4.6)	29 (4.5)	30 (4.7)	28 (4.6)	45 (4.6)	
	その他	11 (1.7)	14 (2.2)	10 (1.6)	16 (2.6)	22 (2.2)	
	N A	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (0.1)	
	2 創業してから何年になりますか	2年未満	4 (0.6)	8 (1.2)	5 (0.8)	4 (0.7)	5 (0.5)
	2～5年未満	13 (2.0)	24 (3.7)	20 (3.1)	22 (3.6)	31 (3.2)	
	5～10年未満	34 (5.2)	32 (5.0)	35 (5.4)	41 (6.7)	44 (4.5)	
	10～15年未満	50 (7.6)	39 (6.1)	44 (6.8)	39 (6.4)	59 (6.0)	
	15～20年未満	66 (10.1)	74 (11.5)	56 (8.7)	59 (9.7)	79 (8.0)	
	20～30年未満	124 (18.9)	138 (21.5)	116 (18.0)	106 (17.4)	163 (16.6)	
	30～50年未満	225 (34.4)	203 (31.6)	221 (34.4)	199 (32.6)	354 (36.0)	
	50年以上	138 (21.1)	123 (19.2)	144 (22.4)	138 (22.6)	249 (25.3)	
	N A	1 (0.2)	1 (0.2)	2 (0.3)	2 (0.3)	0 (0.0)	
	3 3か月以上継続雇用・パート含家族除 常時使用する従業員は何人ですか	0人	167 (25.5)	164 (25.5)	160 (24.9)	188 (30.8)	255 (25.9)
	1人	84 (12.8)	94 (14.6)	96 (14.9)	90 (14.8)	130 (13.2)	
	2人	59 (9.0)	64 (10.0)	63 (9.8)	76 (12.5)	81 (8.2)	
	3～5人	120 (18.3)	117 (18.2)	119 (18.5)	100 (16.4)	169 (17.2)	
	6～10人	105 (16.0)	96 (15.0)	99 (15.4)	70 (11.5)	143 (14.5)	
	11～15人	46 (7.0)	46 (7.2)	45 (7.0)	40 (6.6)	66 (6.7)	
	16～20人	35 (5.3)	20 (3.1)	23 (3.6)	18 (3.0)	37 (3.8)	
	21人以上	37 (5.6)	41 (6.4)	38 (5.9)	27 (4.4)	102 (10.4)	
	N A	2 (0.3)	0 (-)	0 (-)	1 (0.2)	1 (0.1)	

区 分		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度		
営業の状況についておたずねします	4	500万円未満	16 (2.4)	15 (2.3)	20 (3.1)	20 (3.3)	27 (2.7)	
	ここ一年間の売上高はどのくらい	500～1000万円未満	46 (7.0)	40 (6.2)	52 (8.1)	60 (9.8)	93 (9.5)	
		1000～3000万円未満	171 (26.1)	175 (27.3)	159 (24.7)	191 (31.3)	238 (24.2)	
		3000～5000万円未満	109 (16.6)	122 (19.0)	105 (16.3)	95 (15.6)	137 (13.9)	
		5000～1億円未満	118 (18.0)	120 (18.7)	115 (17.9)	108 (17.7)	172 (17.5)	
		1億円～1億5000万円未満	69 (10.5)	49 (7.6)	86 (13.4)	52 (8.5)	109 (11.1)	
		1億5000万円以上	123 (18.8)	120 (18.7)	104 (16.2)	83 (13.6)	204 (20.7)	
		N A	3 (0.5)	1 (0.2)	2 (0.3)	1 (0.2)	4 (0.4)	
		5	5%未満	109 (16.6)	117 (18.2)	139 (21.6)	124 (20.3)	142 (14.4)
		増加	5～10%未満	67 (10.2)	75 (11.7)	51 (7.9)	66 (10.8)	91 (9.2)
10～20%未満			52 (7.9)	38 (5.9)	41 (6.4)	26 (4.3)	60 (6.1)	
20%以上	22 (3.4)		28 (4.4)	25 (3.9)	28 (4.6)	34 (3.5)		
N A	7 (1.1)		9 (1.4)	7 (1.1)	4 (0.7)	12 (1.2)		
減少	5%未満	134 (20.5)	146 (22.7)	157 (24.4)	125 (20.5)	202 (20.5)		
	5～10%未満	138 (21.1)	135 (21.0)	123 (19.1)	123 (20.2)	209 (21.2)		
	10～20%未満	78 (11.9)	56 (8.7)	55 (8.6)	74 (12.1)	151 (15.3)		
	20%以上	48 (7.3)	38 (5.9)	45 (7.0)	40 (6.6)	83 (8.4)		
6	納期の短縮、支払サイトの変更等あった					51 (5.2)		
商品販売先取引条件	元請等からの受注価格の引下げがあった					138 (14.0)		
	商品販売先から価格の引上げがあった					183 (18.6)		
	あまり変化はなかった					550 (55.9)		
	N A					62 (6.3)		
7	黒字	194 (29.6)	197 (30.7)	186 (28.9)	176 (28.9)	229 (23.3)		
採算状況について	現在	収支とんとん	294 (44.9)	288 (44.9)	279 (43.4)	278 (45.6)	421 (42.8)	
		赤字	164 (25.0)	153 (23.8)	169 (26.3)	150 (24.6)	323 (32.8)	
		N A	3 (0.5)	4 (0.6)	9 (1.4)	6 (1.0)	11 (1.1)	
		好転した	106 (16.2)	117 (18.2)	79 (12.3)	75 (12.3)	66 (6.7)	
一年前とくらべて	一年前とくらべて	変わらない	230 (35.1)	224 (34.9)	269 (41.8)	264 (43.3)	333 (33.8)	
		悪化した	282 (43.1)	260 (40.5)	238 (37.0)	233 (38.2)	503 (51.1)	
		わからない	19 (2.9)	17 (2.6)	23 (3.6)	14 (2.3)	31 (3.2)	
		N A	18 (2.7)	24 (3.7)	34 (5.3)	24 (3.9)	51 (5.2)	

区 分		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度		
営業の状況についておたずねします	8	大変苦しくなる	21 (3.2)	17 (2.6)	31 (4.8)	33 (5.4)	87 (8.8)	
	どのようになるか 十二月の資金繰りは	苦しくなる	204 (31.1)	205 (31.9)	215 (33.4)	209 (34.3)	399 (40.5)	
		変わらない	331 (50.5)	328 (51.1)	300 (46.7)	281 (46.1)	333 (33.8)	
		楽になる	12 (1.8)	18 (2.8)	17 (2.6)	10 (1.6)	8 (0.8)	
		わからない	82 (12.5)	60 (9.3)	66 (10.3)	67 (11.0)	139 (14.1)	
		N A	5 (0.8)	14 (2.2)	14 (2.2)	10 (1.6)	18 (1.8)	
		9	売上が予定額に達しないため	158 (70.2)	149 (67.1)	161 (65.4)	173 (71.5)	299 (61.5)
	資金繰りが苦しくなる原因はなんですか (2つ以内で回答)	売上利益が予定額に達しないため	95 (42.2)	114 (51.4)	105 (42.7)	110 (45.5)	271 (55.8)	
		受取手形が多くなるため	12 (5.3)	2 (0.9)	7 (2.8)	5 (2.1)	6 (1.2)	
		受取手形の期日が長くなるため	4 (1.8)	3 (1.4)	5 (2.0)	4 (1.7)	6 (1.2)	
		金融機関からの借入が円滑にできないため	19 (8.4)	10 (4.5)	16 (6.5)	11 (4.5)	27 (5.6)	
		借入返済額が大きいため	41 (18.2)	63 (28.4)	67 (27.2)	58 (24.0)	85 (17.5)	
		在庫品が増えるため	10 (4.4)	9 (4.1)	11 (4.5)	7 (2.9)	8 (1.6)	
		売上代金の回収が悪いため	25 (11.1)	15 (6.8)	14 (5.7)	20 (8.3)	35 (7.2)	
		焦付、貸倒的売掛が発生しているため	7 (3.1)	3 (1.4)	9 (3.7)	10 (4.1)	12 (2.5)	
		経費が増大しているため	30 (13.3)	41 (18.5)	50 (20.3)	36 (14.9)	147 (30.2)	
		その他(具体的に)	8 (3.6)	8 (3.6)	7 (2.8)	7 (2.9)	12 (2.5)	
		N A	1 (0.4)	4 (1.8)	2 (0.8)	2 (0.8)	4 (0.8)	
		10	1年か					435 (44.2)
		原材料原価の上昇についておたずねします	前と比較して変化しました					191 (19.4)
	10%以上上昇した						89 (9.0)	
	20%以上上昇した						208 (21.1)	
	30%以上上昇した						6 (0.6)	
	変化はない						55 (5.6)	
	値下がりした						298 (30.3)	
	N A						466 (47.4)	
	原の材料収益価格の上昇	収益を大きく圧迫している					158 (16.1)	
		やや圧迫している					62 (6.3)	
		影響はほとんどない						
		N A						

区 分		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度				
営業の状況についておたずねします	10 原材料原価の上昇についておたずねします	販売価格等に転嫁できていますか	1%～20%転嫁				332 (33.7)			
			21%～50%転嫁				62 (6.3)			
			51%～80%転嫁				51 (5.2)			
			81%～100%転嫁				44 (4.5)			
			まったく転嫁できていない				396 (40.2)			
		N A				99 (10.1)				
	11 今年6月末の預金高はどのくらい	増	資金繰りが悪化した				446 (45.3)			
			資金繰りに変化はない				441 (44.8)			
			資金繰りが好転した				7 (0.7)			
			N A				90 (9.1)			
金融機関との取引及び借入状況についておたずねします	11 今年6月末の預金高はどのくらい	ありましたか	100万円未満	114 (17.4)		114 (17.7)	116 (19.0)	183 (18.6)		
			100～300万円未満	142 (21.7)		138 (21.5)	148 (24.3)	230 (23.4)		
			300～500万円未満	93 (14.2)		92 (14.3)	103 (16.9)	135 (13.7)		
			500～1000万円未満	103 (15.7)		111 (17.3)	99 (16.2)	134 (13.6)		
			1000～2000万円未満	75 (11.5)	1000～3000万円未満	98 (15.2)	81 (13.3)	133 (13.5)		
			2000～5000万円未満	67 (10.2)	3000～5000万円未満	27 (4.2)	17 (2.8)	54 (5.5)		
			5000万円以上	38 (5.8)	5000万円～1億円未満	20 (3.1)	19 (3.1)	41 (4.2)		
					1億円以上	16 (2.5)	11 (1.8)	37 (3.8)		
				N A	23 (3.5)		27 (4.2)	16 (2.6)	37 (3.8)	
			12 昨年の6月と比べ、預金は増加しましたか	増	5%未満			138 (21.5)	142 (23.3)	126 (12.8)
					5～10%未満			43 (6.7)	39 (6.4)	47 (4.8)
					10～15%未満			11 (1.7)	9 (1.5)	17 (1.7)
	15～20%未満					7 (1.1)	4 (0.7)	10 (1.0)		
	20%以上					16 (2.5)	18 (3.0)	42 (4.3)		
	減	5%未満				205 (31.9)	179 (29.3)	294 (29.9)		
		5～10%未満				97 (15.1)	105 (17.2)	183 (18.6)		
		10～15%未満			40 (6.2)	27 (4.4)	78 (7.9)			
					23 (3.6)	13 (2.1)	40 (4.1)			
					38 (5.9)	50 (8.2)	100 (10.2)			
	N A			25 (3.9)	24 (3.9)	47 (4.8)				

区 分		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
金融機関との取引及び借入状況についておたずねします	13 ありましたか 今年6月末の借入額はどのくらい	0	70 (10.7)	69	28	32	
	100万円未満	24 (3.7)	(10.7)	(4.4)	(5.2)	51 (5.2)	
	100～300万円未満	72 (11.0)	(9.7)	(10.0)	(7.2)	84 (8.5)	
	300～500万円未満	62 (9.5)	(8.6)	(6.5)	(10.0)	89 (9.0)	
	500～1000万円未満	73 (11.1)	(15.4)	(12.8)	(14.9)	105 (10.7)	
	1000～3000万円未満	159 (24.3)	(23.7)	(25.3)	(26.4)	185 (18.8)	
	3000～5000万円未満	75 (11.5)	(13.1)	(12.3)	(10.3)	102 (10.4)	
	5000～1億円未満	65 (9.9)	(8.7)	(11.0)	(6.4)	93 (9.5)	
	1億円以上	42 (6.4)	(6.7)	(5.1)	(6.9)	92 (9.3)	
	なし			(10.6)	(10.5)	149 (15.1)	
	N A	13 (2.0)	(3.4)	(2.0)	(2.1)	34 (3.5)	
	14 現在の借入先はどこですか(多い順に3つ)	普通銀行	408 (62.3)	409 (63.7)	422 (75.1)	405 (66.4)	660 (82.4)
	(都市銀行)			15 (2.7)	13 (2.1)	34 (4.2)	
	(地方銀行)			328 (58.4)	328 (53.8)	531 (66.3)	
	(第二地方銀行)			79 (14.2)	64 (10.5)	95 (11.9)	
	信用金庫	259 (39.5)	234 (36.4)	227 (40.4)	213 (34.9)	313 (39.1)	
信用組合	48 (7.3)	57 (8.9)	47 (8.4)	46 (7.5)	67 (8.4)		
国民生活金融公庫	343 (52.4)	358 (55.8)	337 (60.0)	278 (45.6)	331 (41.3)		
中小企業金融公庫	35 (5.3)	26 (4.0)	22 (3.9)	20 (3.3)	43 (5.4)		
商工組合中央金庫	10 (1.5)	12 (1.9)	9 (1.6)	14 (2.3)	28 (3.5)		
農協	45 (6.9)	33 (5.1)	32 (5.7)	31 (5.1)	32 (4.0)		
その他	30 (4.6)	35 (5.5)	15 (2.7)	20 (3.3)	32 (4.0)		
N A	- (-)	35 (5.5)	8 (1.4)	4 (0.7)	3 (0.4)		
15 借入額は(昨年十二月に比べて)	増えた	196 (29.9)	190 (29.6)	182 (32.4)	183 (30.0)	266 (33.2)	
変わらない	177 (27.0)	196 (30.5)	159 (28.3)	175 (28.7)	245 (30.6)		
減った	229 (35.0)	225 (35.0)	217 (38.6)	182 (29.8)	285 (35.6)		
N A	53 (8.1)	31 (4.8)	4 (0.7)	70 (11.5)	5 (0.6)		
16 金利は(昨年十二月に比べて)	上がった	46 (7.0)	40 (6.2)	163 (29.0)	164 (26.9)	190 (23.7)	
変わらない	483 (73.7)	505 (78.7)	383 (68.1)	351 (57.5)	577 (72.0)		
下がった	63 (9.6)	57 (8.9)	11 (2.0)	16 (2.6)	25 (3.1)		
N A	63 (9.6)	40 (6.2)	5 (0.9)	79 (13.0)	9 (1.1)		

区 分		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
金融機関との取引及び借入状況についておたずねします	17 平均借入金利はどのくらいですか	2.0%未満	180 (27.5)	212 (33.0)	125 (22.2)	71 (11.6)	139 (17.4)
		2.0～ 2.5%未満	240 (36.6)	236 (36.8)	250 (44.5)	263 (43.1)	387 (48.3)
		2.5～ 3.0%未満	111 (16.9)	90 (14.0)	115 (20.5)	126 (20.7)	170 (21.2)
		3.0～ 3.5%未満	31 (4.7)	33 (5.1)	27 (4.8)	38 (6.2)	42 (5.2)
		3.5～ 4.0%未満	15 (2.3)	11 (1.7)	14 (2.5)	14 (2.3)	27 (3.4)
		4.0～ 4.5%未満	3 (0.5)	7 (1.1)	4 (0.7)	9 (1.5)	4 (0.5)
		4.5～ 5.0%未満					
		5.0～ 5.5%未満	1 (0.2)	1 (0.2)	3 (0.5)	1 (0.2)	3 (0.4)
		5.5～ 6.0%未満					
		N A	74 (11.3)	52 (8.1)	24 (4.3)	88 (14.4)	29 (3.6)
		18 借入最近6ヶ月 申込	申込した	349 (53.3)	324 (50.5)	305 (54.3)	279 (45.7)
	申込しなかった		293 (44.7)	306 (47.7)	250 (44.5)	262 (43.0)	384 (47.9)
	N A		13 (2.0)	12 (1.9)	7 (1.2)	69 (11.3)	9 (1.1)
	19 借入は満足できる ものでしたか	非常に満足した	82 (23.5)	76 (23.5)	88 (28.9)	62 (22.2)	99 (24.3)
		まあ満足した	220 (63.0)	212 (65.4)	177 (58.0)	190 (68.1)	257 (63.0)
		満足できなかった	27 (7.7)	29 (9.0)	28 (9.2)	18 (6.5)	37 (9.1)
		ことわられた	3 (0.9)	1 (0.3)	5 (1.6)	4 (1.4)	9 (2.2)
		N A	17 (4.9)	6 (1.9)	7 (2.3)	5 (1.8)	6 (1.5)
	20 貸し渋りを感じるか	ある	52 (20.8)	45 (18.6)	56 (26.7)	34 (16.0)	68 (22.4)
		ない	187 (74.8)	186 (76.9)	152 (72.4)	173 (81.6)	229 (75.6)
		N A	11 (4.4)	11 (4.5)	2 (1.0)	5 (2.4)	6 (2.0)
21 貸し渋りの内容はなんですか 〔3つ以内でお答えください〕	金額査定減	20 (38.5)	16 (35.6)	22 (39.3)	13 (38.2)	27 (39.7)	
	追加融資不可	21 (40.4)	17 (37.8)	30 (53.6)	14 (41.2)	28 (41.2)	
	既往貸付の回収	7 (13.5)	12 (26.7)	12 (21.4)	13 (38.2)	10 (14.7)	
	金利の上乗せ	3 (5.8)	4 (8.9)	6 (10.7)	7 (20.6)	11 (16.2)	
	担保・保証人の強化	17 (32.7)	17 (37.8)	15 (26.8)	4 (11.8)	13 (19.1)	
	保証協会の付保	19 (36.5)	19 (42.2)	25 (44.6)	10 (29.4)	26 (38.2)	
	審査期間の長期化 審査資料の増加	10 (19.2)	14 (31.1)	7 (12.5)	5 (14.7)	17 (25.0)	
	その他	1 (1.9)	1 (2.2)	0 (-)	1 (2.9)	6 (8.8)	
	N A	(-)	(-)	1 (11.8)	0 (-)	0 (0.0)	

区 分		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
金融機関との取引及び借入状況についておたずねします	22 はなんですか 借りにくい・借りられない理由は	取引実績がない	(-)	8	0	0	2
		担保力がない	6	17	5	2	7
		しっかりした保証人がいない	3	20	0	0	2
		取引実績が悪い	2	8	4	1	0
		借入残高が多い	16	42	31	24	20
		業績が思わしくない	20	52	13	7	29
		その他	-	61	2	0	1
		N A	5	0	1	0	7
	23 希望するか 条件変更を	希望する	116	106	116	95	175
		希望しない	511	485	429	434	596
		N A	28	51	17	81	30
	24 希望の条件変更は	元金の一時据置	19	11	19	15	26
		返済期間の延長	54	53	57	42	98
		長期資金への切換	28	27	30	31	39
		担保等の消滅	7	6	6	2	8
		N A			4	5	4
	25 なんですか 条件変更を希望する理由は	不良債権の発生	3	1	1	1	2
		売上の急激な減少	36	35	38	32	65
		借入難	6	6	8	3	10
		借入返済額が過重	59	47	54	49	66
		取引条件の悪化	2	8	6	6	18
		経営外への資金流失	3	0	1	1	1
		その他	2	2	2	0	8
		N A			6	3	5
	26 難易は 条件変更の	容易である	6	6	5	4	6
		交渉次第で何とかなる	58	48	60	50	74
		難しい	45	43	42	35	85
N A				9	6	10	
27 要求された 借入返還を	ある	37	34	24	22	24	
	ない	595	569	523	515	758	
	N A	23	39	15	73	19	

区 分		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
金融機関との取引及び借入状況	28 経営悪化時の相談先は大きな問題が生じた時の相談先は	商工会	325 (49.6)	340 (53.0)	292 (52.0)	295 (48.4)	348 (43.4)
		県商工会連合会の相談窓口		5 (0.8)	6 (1.1)	3 (0.5)	5 (0.6)
		県中小企業支援センター	11 (1.7)	5 (0.8)	10 (1.8)	5 (0.8)	19 (2.4)
		民間金融機関	221 (33.7)	161 (25.1)	163 (29.0)	152 (24.9)	254 (31.7)
		政府系金融機関	8 (1.2)	15 (2.3)	18 (3.2)	13 (2.1)	23 (2.9)
		親戚・友人・知人	39 (6.0)	48 (7.5)	38 (6.8)	36 (5.9)	62 (7.7)
		その他	20 (3.1)	23 (3.6)	18 (3.2)	25 (4.1)	46 (5.7)
		N A	31	45	17 (3.0)	81 (13.3)	44 (5.5)
	借入計画についておたずねします	29 借入計画 今後一年間	ある	202 (30.8)	200 (31.2)	209 (32.5)	160 (26.2)
		ない	437 (66.7)	424 (66.0)	424 (65.9)	443 (72.6)	677 (68.8)
		N A	16 (2.4)	18 (2.8)	10 (1.6)	7 (1.1)	28 (2.8)
30 設備資金の用途は何ですか		土地建物の取得	13 (6.4)	15 (7.5)	9 (4.3)	13 (8.1)	13 (4.7)
		工場・店舗等の改修・補修	29 (14.4)	40 (20.0)	44 (21.1)	26 (16.3)	44 (15.8)
		パソコン等のIT機器	10 (5.0)	12 (6.0)	6 (2.9)	2 (1.3)	12 (4.3)
		製造機器・ライン増設	14 (6.9)	15 (7.5)	10 (4.8)	14 (8.8)	37 (13.3)
		車両等の購入	34 (16.8)	20 (10.0)	27 (12.9)	25 (15.6)	43 (15.4)
		従業員の福祉施設の設置	2 (1.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (0.7)
		公害防止関係設備	3 (1.5)	3 (1.5)	3 (1.4)	2 (1.3)	4 (1.4)
		その他	7 (3.5)	7 (3.5)	7 (3.3)	1 (0.6)	16 (5.7)
		N A	90 (44.6)	88 (44.0)	103 (49.3)	77 (48.1)	108 (38.7)
31 運轉資金の用途は何ですか		商品原材料の現金買	30 (14.9)	35 (17.5)	48 (23.0)	25 (15.6)	61 (21.9)
		買掛・手形の決済	68 (33.7)	67 (33.5)	71 (34.0)	54 (33.8)	75 (26.9)
		諸経費の支払い、納税	40 (19.8)	48 (24.0)	42 (20.1)	35 (21.9)	66 (23.7)
	賞与・給与の支払い	16 (7.9)	11 (5.5)	17 (8.1)	12 (7.5)	28 (10.0)	
	他の借入返済に充当	11 (5.4)	18 (9.0)	12 (5.7)	18 (11.3)	18 (6.5)	
	新分野進出への準備資金	3 (1.5)	5 (2.5)	4 (1.9)	2 (1.3)	7 (2.5)	
	N A	34 (16.8)	16 (8.0)	15 (7.2)	14 (8.8)	24 (8.6)	

区 分		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
借入計画についておたずねします	32	近くで便利	96	20	30	28	31
	借入の際、なにを重視しますか 〔2つ以内で回答〕	(14.7)	(10.0)	(14.4)	(17.5)	(11.1)	
		金利が低い	407	130	119	106	196
		(62.1)	(65.0)	(56.9)	(66.3)	(70.3)	
		返済期間が手頃	157	59	51	34	60
		(24.0)	(29.5)	(24.4)	(21.3)	(21.5)	
		条件が有利	294	89	86	68	117
		(44.9)	(44.5)	(41.1)	(42.5)	(41.9)	
		サービスがよい	24	2	5	9	9
		(3.7)	(1.0)	(2.4)	(5.6)	(3.2)	
	経営上の相談・指導が 得られる	94	29	40	26	40	
	(14.4)	(14.5)	(19.1)	(16.3)	(14.3)		
	日ごろの付合い	108	40	50	31	69	
	(16.5)	(20.0)	(23.9)	(19.4)	(24.7)		
	その他	7	0	3	1	2	
	(1.1)	(-)	(1.4)	(0.6)	(0.7)		
	N A	(-)	(1.5)	(2.4)	(0.6)	(2.5)	
	33	業況の先行き 見通し難	341	115	126	108	192
	借入の際、なにが懸念されますか 〔2つ以内で回答〕	(52.1)	(57.5)	(60.3)	(67.5)	(68.8)	
		借入後の返済力	355	97	115	97	184
		(54.2)	(48.5)	(55.0)	(60.6)	(65.9)	
		不動産担保余力	21	10	6	1	9
		(3.2)	(5.0)	(2.9)	(0.6)	(3.2)	
		連帯保証人	119	49	42	22	22
		(18.2)	(24.5)	(20.1)	(13.8)	(7.9)	
		金融機関の対応	71	50	44	28	39
		(10.8)	(25.0)	(21.1)	(17.5)	(14.0)	
		信用保証協会の付保	37	18	12	9	14
	(5.6)	(9.0)	(5.7)	(5.6)	(5.0)		
	後継者難	54	9	6	4	15	
	(8.2)	(4.5)	(2.9)	(2.5)	(5.4)		
	その他	2	2	0	0	0	
	(0.3)	(1.0)	(-)	(-)	(0.0)		
特になし	64	8	11	13	15		
(9.8)	(4.0)	(5.3)	(8.1)	(5.4)			
N A	(-)	(1.5)	(2.4)	(1.9)	(3.2)		
34	C L O	56		34	40	45	
資金調達についておたずねします	(8.5)	(5.3)	(6.6)	(4.6)			
	中小企業支援ファンド	86		84	84	149	
	(13.1)	(13.1)	(13.8)	(15.1)			
	出資の受入	51		67	66	91	
	(7.8)	(10.4)	(10.8)	(9.2)			
	社債の発行	13		20	10	31	
	(2.0)	(3.1)	(1.6)	(3.2)			
	少人数私募債の発行	24		76	55	85	
(3.7)	(11.8)	(9.0)	(8.6)				
C B O			22	13	16		
(3.4)	(2.1)	(1.6)					
その他	57		65	61	96		
(8.7)	(10.1)	(10.0)	(9.8)				
N A			369	361	588		
(5.7.4)	(59.2)	(59.8)					

区 分		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
融 資 制 度 に つ い て お た ず ね し ま す	35 融 資 制 度 の 利 用 過 去 一 年 以 内	あ る 355 (54.2)	342 (53.3)	319 (49.6)	285 (46.7)	388 (39.4)	
	な い 277 (42.3)	281 (43.8)	311 (48.4)	316 (51.8)	567 (57.6)		
	知 ら な い (-)	(-)	(-)	(-)	(0.0)		
	N A 23 (3.5)	19 (3.0)	13 (2.0)	9 (1.5)	29 (2.9)		
	36 融 資 制 度 は 経 営 に 役 立 っ て い ま す か	大 変 役 に た っ て い る			174 (54.5)	175 (61.4)	234 (60.3)
	ま あ 役 に た っ て い る			139 (43.6)	103 (36.1)	140 (36.1)	
	あ ま り 役 に た っ て い な い			3 (0.9)	4 (1.4)	6 (1.5)	
	役 に た っ て い な い			0 (-)	3 (1.1)	3 (0.8)	
	N A			3 (0.9)	0 (-)	5 (1.3)	
	37 国 ・ 県 ・ 市 町 村 の 融 資 制 度 を 利 用 さ れ な っ た 理 由 は	利 用 す る 必 要 が な っ た			236 (75.9)	221 (69.9)	398 (70.2)
	メ リ ッ ト が な い			5 (1.6)	7 (2.2)	7 (1.2)	
	手 続 き が 面 倒 だ か ら			14 (4.5)	28 (8.9)	26 (4.6)	
	融 資 の 条 件 に 合 致 し な い か ら			13 (4.2)	18 (5.7)	32 (5.6)	
	制 度 融 資 を 知 ら な っ た			10 (3.2)	10 (3.2)	22 (3.9)	
	そ の 他			10 (3.2)	6 (1.9)	13 (2.3)	
	N A			23 (7.4)	26 (8.2)	69 (12.2)	
	38 統 合 に よ り 影 響 が あ る か	影 響 が あ る		18年度 (懸念がある) 241 (37.5)	60 (19.0)	65 (11.5)	
	影 響 が な い			58 (懸念がない) (9.0)	58 (18.4)	70 (12.3)	
	な ん と も 言 え な い			318 (なんとも言えない) (49.5)	178 (56.3)	364 (64.2)	
	N A		N A	26 (4.0)	20 (5.3)	68 (12.0)	
40 マ ル 経 融 資 制 度 は 改 正 の 周 知 度 は	よ く 知 っ て い る				19 (1.9)		
だ い たい 知 っ て い る					87 (8.8)		
少 し し か 知 ら な い					195 (19.8)		
ま っ た く 知 ら な い					612 (62.2)		
N A					71 (7.2)		
41 市 町 村 合 併 に よ る 市 制 度 の 利 用 状 況	利 用 し や す く な っ た				53 (5.4)		
あ ま り 変 わ ら な い					620 (63.0)		
利 用 が 不 便 に な っ た					64 (6.5)		
N A					247 (25.1)		

区 分		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
最近の諸制度についておたずねします	42 信用保証制度の	(1) 借入した			100 (15.6)	111 (18.2)	311 (31.6)
		(1) 借入実行			527 (82.0)	475 (77.9)	567 (57.6)
		N A			16 (2.5)	24 (3.9)	106 (10.8)
	(2) 手続きについて	円滑に融資が受けられた					227 (73.0)
		少し難しかった					66 (21.2)
		円滑でなく難しかった					14 (4.5)
		N A					4 (1.3)
	43 金融機関の態度に	金融機関の審査が厳しくなった					37 (11.9)
		融資の金利が高くなった					18 (5.8)
		従来より提出書類が増え実行まで時間を要する					67 (21.5)
		あまり変化はなかった					179 (57.6)
		N A					10 (3.2)
	44 貸金業改正・上限金利	引下の資金繰りへの影響					138 (22.6)
		影響があると思う					178 (18.1)
		影響はないと思う					142 (23.3)
		影響は大きい					3 (0.7)
		影響は小さい					9 (2.1)
		よくわからない					294 (48.2)
		N A					24 (11.7)
	45 地域力連携	関心があり取組みに相談したい					53 (5.4)
		内容に不明あり説明受けたい					63 (6.4)
		現在のところ関心ない					744 (75.6)
		N A					124 (12.6)